

○安堵町こども計画（素案）に対するパブリックコメントの実施結果について

- 1 募集期間 令和7年11月28日（金）から12月8日（月）まで
- 2 提出者数 6名
- 3 意見件数 13件
- 4 提出されたご意見の要旨と町の考え方

大人

ご意見の要旨	町の考え方
<p>誰もが気軽にパソコンに触れられる場所を整備し、タイピングタイム競争などのイベントを実施することで、パソコンに強い町として、こどもたちも実践的なスキルを身に付けて成長できるのではないか。</p> <p>図書室については、教育への重要な投資として位置づけ、蔵書や新刊購入の予算を大幅に増やすとともに、開室時間の拡大など利用しやすい環境を整えてほしい。</p> <p>学校の部活動について、総体がなくなるかもしれないとのことだが、詳しく聞かされていない。部活動民間委託には反対しないが、こどもたちの目標ややる気を奪うことはしないでほしい。</p> <p>学校において、他地域の学校との交換留学や交流事業を実施し、町外の視点に触れる機会を設けてほしい。また、社会貢献体験など中学生が視野を広げられるような体験を設けてはどうか。</p> <p>小中学校において、1年に1回は本物の演奏などの芸術に触れる機会を設けてほしい。</p> <p>町で無料の英語教室を実施しているが、さらにレベルの高いクラスをつくり、国際的に活躍できる人材育成の土台づくりをしてほしい。</p>	<p>教育分野では、小学校からタブレットを活用した学習を行い、将来的にデジタル技術を活用できる人材育成を進めております。</p> <p>図書室については、県内図書館からの本の取り寄せや新刊リクエストを活用していただくことができます。また、開室日などの運営面については、今後の参考にさせていただきます。</p> <p>今後の総体のあり方については、現時点で県から方針が示されておりません。</p> <p>こどもの部活動については、体力や技能の向上だけでなく、多様な学びの機会として重要であると考えております。</p> <p>交換留学につきましては、現在のところ計画はしておりませんが、様々な人との交流の促進については、計画の「キャリア教育の推進」とあわせて、いただいたご意見を参考にしつつ、こどもたちの健やかな成長につながるような取り組みを検討してまいります。</p> <p>小学校においては、文化庁の「舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）」の採択を受け、芸術鑑賞を実施しております。また、公演前日のワークショップをはじめ、プロの芸術活動に触れることで多くの学びを得ています。今後は小学校のみにとどまらず、中学校でも実施できるよう努めてまいります。</p> <p>英語教育の推進については、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>

耕作放棄地を活用し、子どもから高齢者までが参加できる循環型有機農業を通じた居場所づくりに取り組んでほしい。無農薬や化学肥料を使用しない野菜づくりを中心として、人が集まることで里山の保全や土地の有効活用につなげてほしい。また、町には農家OBが多いため、その方々に指導役として活躍してもらい、こどもや若者が作業を通じて役割や学びを得られるよう、世代間交流と人材育成につながる仕組みを整えてほしい。

観光事業への出資は辞めてほしい。町に観光客が来ても、住民に関係がなく、メリットもない。芋煮をアピールして安堵町を知ってもらっても、メリットを感じない。住民には具体的にどのようなメリットがあるのか。

安堵町マラソン大会にキッチンカーの出店やミニスポーツイベントを併せて開催し、子どもたちが体を動かしてストレス発散をし、コミュニティに触れ合う場となるとよい。また、マラソン大会のイベント性が強くなれば、人が集まるのではないか。

草アレルギーを持つ子どもも多くいるため、放置された草むらを整備してほしい。また、野焼きを禁止してほしい。

子どもの未来は大事だが、高齢者も含めて全世代真ん中で誰もが幸せに暮らしていくような未来になるとよい。
中学生・高校生がいる家庭は未就学児より必要な出費が多い。中学生・高校生がいる家庭への支援がないのはなぜか。また、塾や習い事に対する経済的支援を行ってほしい。

倉庫建設だけでなく、宅地開発を進めてほしい。また、安堵町全体が活気づくような提案がほしい。他自治体から安堵町に転入してきた人は、不満を持っているため、先進的な取り組みを進めてほしい。

耕作放棄地を町民の学びや交流の場として活用していくことは有益だと考えます。地域の住民が中心となる取り組みなど様々な方法がありますが、まずは、農業者になげかけてまいります。

観光振興は、地域経済の活性化につながるものであり、町を誇りに思う気持ちの醸成や町の歴史の保存にもつながるものですので、引き続き観光振興の取り組みを行ってまいります。

安堵町マラソン大会などの町のイベントや交流事業については、こどもから大人まで幅広い世代が楽しめるような内容にしてまいります。

生活環境面では、町有地の雑草除去を定期的に実施しております。ルールに基づいた野焼きについては認められておりますが、広報等で、注意喚起してまいります。

子育て支援については、児童手当や子ども医療費助成の対象拡大など中高生を含めた支援を実施しています。誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

宅地開発には、土地の用途変更に制限がありますので、様々な課題の解決が必要です。活気づくような提案及び先進的な取り組みについては、いただいたご意見を参考にして、町民の皆様がここに住んでよかつたと思えるまちづくりを進めてまいります。

意見募集において個別回答を行わないとしながら、氏名や連絡先の記載を求めるのはなぜなのか。

パブリックコメントにおいては、意見内容に対する確認などの問い合わせに活用するため、お名前や電話番号の記載をお願いしております。